

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-84	小学校	音楽	音楽	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 204	小学生の音楽 2		

1. 編修の基本方針

豊かな未来を音楽でつむぐ

デジタル技術の進歩や、それに伴う社会の変化によって、子どもたちが新しい音楽に出会う機会は増えています。

音楽的な見方・考え方を働かせることによって、子どもたちが生活や社会の中の音や音楽と、より豊かに出会ったり、音楽の授業を通して、より豊かな音楽体験をしたりすることができるように、以下の3点を柱として、この教科書を編修いたしました。

① 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

子どもたちの「やってみたい」という意欲が自発的に生まれるように、学習の目当てやヒントとなるキャラクターの吹き出しを充実させ、子どもたちが主体的に学習を進めることができるようにしました。



② 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という音楽科特有の学習活動を進めながら、音楽科における「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成も着実に進めることができるように、教材や文章の示し方を工夫しました。



③ 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う



身の回りにある音や音楽と、学校の授業で学習する内容とを結び付けることによって、音楽の学びを自分の人生に活かせるような人間に育ててほしい、という願いから、身の回りの事象を教材化したり、「体験型」の鑑賞学習などを取り入れたりすることで、子どもたちが実感をもちながら、それらの音や音楽のよさやおもしろさを感じ取ることができるように配慮しました。

1 子どもたちの心が動く。～主体的、協動的な学びを促す

① 子どもたちの学習意欲を引き出します。

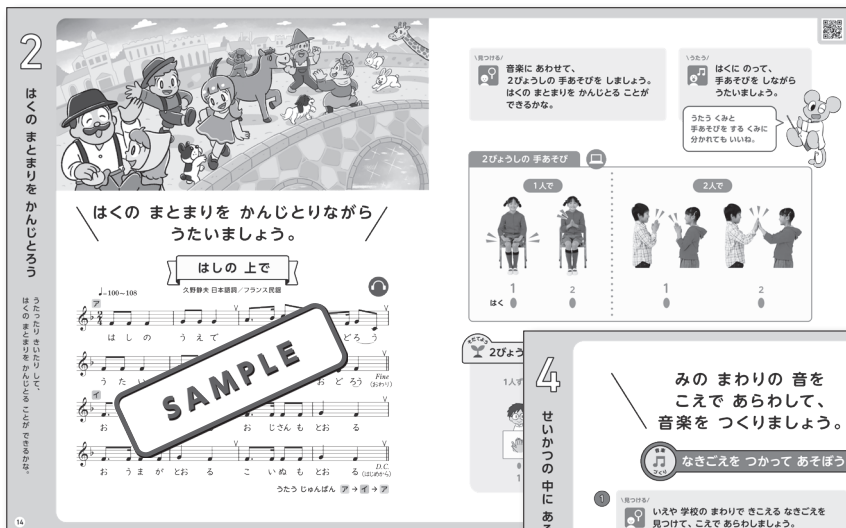
ナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場します。彼らの吹き出しがヒントになり、「この学習では、何に気付いて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、子どもたちの「やってみたい」という意欲が高まります。



P.52・53

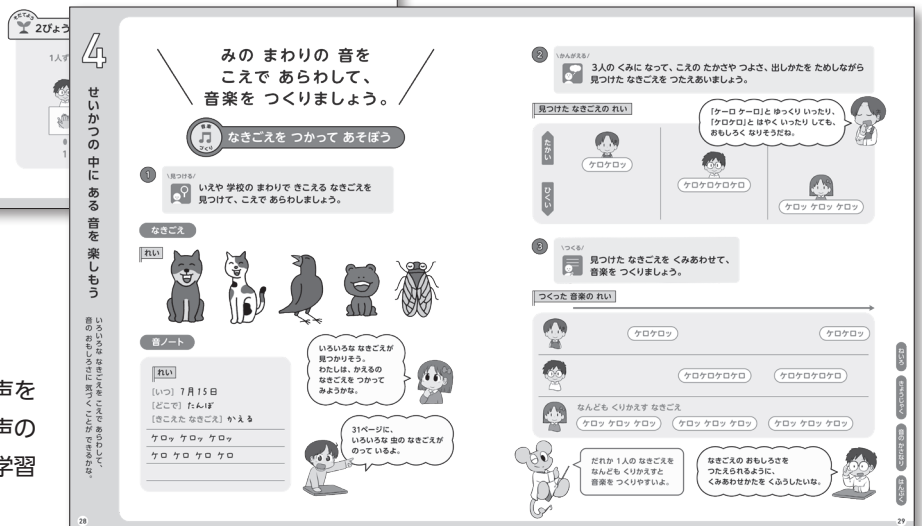
② 魅力あふれる教材や学習活動によって、ワクワク感を引き出します。

体の動きを取り入れた学習や、子どもたちに身近なテーマを教材化した学習を取り上げ、子どもたちが音楽活動を楽しみながら、取り組むことができるように工夫しました。



P.14・15

1人で手遊びをしたり、友達と手遊びをしたりして体を動かしながら、2拍子の感覚を養います。



P.28・29

動物や虫など、身の回りで聞こえる鳴き声を見つけ、それをオノマトペで表しながら声の出し方を工夫して、簡単な音楽をつくる学習です。

2 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

① 学習内容を見える化することによって、子どもたちの思考を刺激します。

「音楽に対してもった自分の思いをどう表現するのか」「この音楽のよさはどこにあるのか」といった「思考・判断・表現」や「知識」に関わる内容を意識しながら表現や鑑賞の学習を進めることができるように配慮し、子どもたち一人一人が学習の目当てをつかみやすいよう、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」のアイコンを示しました。

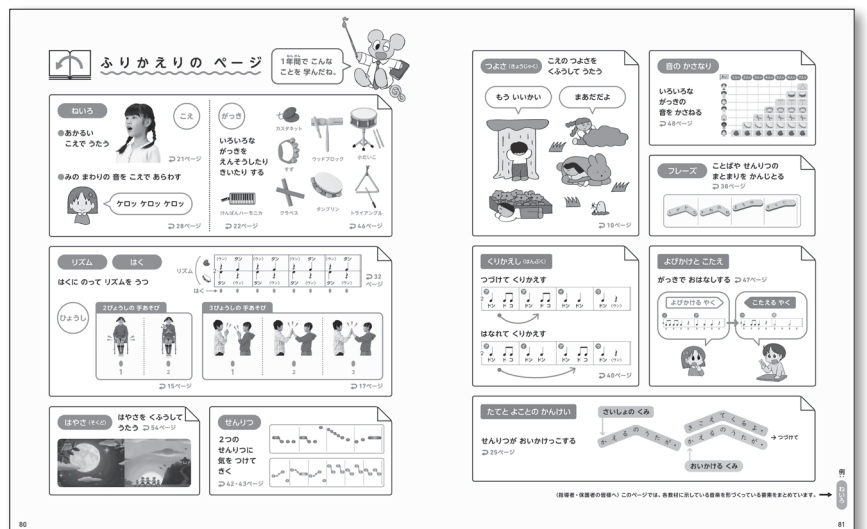


② 見通しをもった学びの実現

子どもたちが学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるように、各学年の冒頭に「学習マップ」のページを設けました。また、それぞれの学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめて確認することができる「ふり返りのページ」も掲載しています。



P.2・3



P.80・81

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①音楽でみんなとつながろう	外国語の挨拶の言葉を含めた教材や、外国の遊び歌や踊りの音楽の学習を通して、他国を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.6～9 P.12・13
②はくのまとまりをかんじとろう	リズムの基礎となる「拍」と、拍のまとまりによって生まれる「拍子」を感じ取る学習を設定し、音楽活動に必要な知識や技能を身に付けられるようにしました。(第一号)	P.14～19
③ドレミであそぼう	歌唱や鑑賞の教材を通して、音高に関する感覚を確実なものにできるようにしました。特にドレミの風船のイラストによって、一層理解が進むよう工夫しました。(第一号)	P.20～27
④せいかつの中にある音を楽しもう	身の回りの音を声で表して、創造性豊かに音楽づくりの学習活動ができるようにしました。(第二号)	P.28・29
	虫の鳴き声や鳴いている様子を思い浮かべながら歌うことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにしました。(第四号)	P.30・31
⑤リズムをかさねて楽しもう	2つのパートに分かれてリズムを打ち合わせる学習活動を通して、より確実に拍子感を身に付けられるようにしました。(第一号)	P.32～37
	互いの楽器の音を聴き合いながら、協力して合奏することを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.32～37
⑥くりかえしを見つけよう	旋律の反復が音楽を形づくっている要素の一つであることに気付くことができるようにしました。(第一号)	P.38～43
	リズムの反復を用いて音楽をつくる学習活動を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.40・41
⑦いろいろながっきの音をさがそう	打楽器の様々な音色に親しみ、音色の組み合わせや重ね方を工夫する学習活動を通して、音楽活動に必要な知識を身に付けられるようにしました。(第一号)	P.44～49
⑧ようすをおもいうかべよう	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌ったり鑑賞したりすることを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにしました。(第四号)	P.50～57
⑨日本のうたでつながろう	我が国のわらべうたを聴いたり歌ったりしながら遊ぶことを通して、我が国の文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.58・59
⑩みんなであわせて楽しもう	互いの声や楽器の音を聴き合いながら、協力して歌ったり合奏したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.62～65
	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌うことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにしました。(第四号)	P.68・69
うたいつごう 日本のうた	我が国で長く歌い継がれている、詩情豊かな歌を歌うことを通して、豊かな情操を養えるようにしました。(第一号)	P.70・71
みんなで楽しく	歌を通して自然や動物などに対する思いを高められる教材を配列しました。(第四号)	P.72～77
国歌「きみがよ」	国歌「君が代」がどのような場面で歌われるのかを知ることを通して、国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.82・83

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-84	小学校	音楽	音楽	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 204	小学生の音楽 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的な学びや協働的な学びの充実

●体の動きを伴った活動を通して、楽しみながら音楽を感じ取り、その活動を友達と共有することによって、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。

① 友達と手遊びをして、3拍子の音楽のおもしろさを感じ取ります。

はくの まとまりを かんじとりながら
うたいましょう。

たぬきの たいこ

1 たぬきの ぼうや が やまて タン タタン
2 からす の カアさん は わね パ タバタ

たのしく たいこを うたいましょ
たぬきの せいた

やまから ら みんな こい タタン タン
たぬきの たいこで おどろう

音楽にあわせて 3びょうしの
手あそびをして、
「はしの上で」(P.14ページ)の
音楽の かんじとくらべましょう。

どちらにも「おどろう」という
かしがあるけれど、
おどりの かんじが ちがう
気がする。

3びょうしを かんじながら、
ともだちと こえをあわせて
うたいましょう。

3びょうしの手あそび

3びょうしの手あそびを
1人でするとき、
どうしたら いいのかな。

3びょうしでリズムあそび

1 2人のくみになり、のリズムを のリズムを のじゆんにうちましよう。

2 下のれいのように、 のリズムでリレーしましよう。

くみをかえて
ほかのともだちと
うってみよう。

P.16・17

② 教材と関連させながら、スモールステップの活動を積み重ねることで、音楽の力を育てる、「そだてよう」のコーナーを設けました。子どもたちはゲーム的な感覚で楽しみながら取り組むことができます。

2 子どもたちの音楽的な見方・考え方がより働く構成

●子どもたち一人一人が感じ取った音楽のよさについて、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるようになってほしいという思いで構成しました。

活動文は、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の、それぞれの内容を関連させながら、学びを広げたり深めたりすることができるようにしました。

題材名 [題材の最初のページ]

学習目標

活動文 P.44・45

7 いろいろながっきの音の中から、すきな音をさがしましょう。

だがつき パーティー
長谷部匠 作曲

いちばんはじめに きこえるのは、どんな がっきの 音かな。

ともだちは、どの がっきの まねをして いるのかな。

ねらい P.48・49

題材のねらい

この題材で何を学ぶのか、どのような学習をするのかを示しました。

学習のまとめ

この題材で何を学んだのかを振り返り、これからの学習につなげるための内容を示しました。



2びょうし
15ページ

P.33

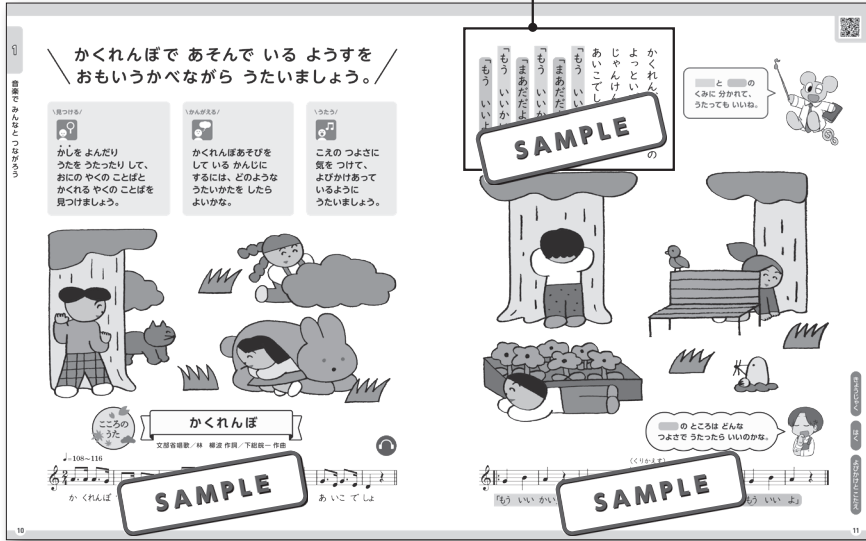
「おもいだそう」コーナーの設置

以前学習したことをもう一度確かめ、その内容を、新たな学習で生かせるようにしました。

3 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

- 楽譜や縦書き歌詞、活動文については、無地や単色の部分に配置するなど、読みやすさを確保しています。さらに、写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。

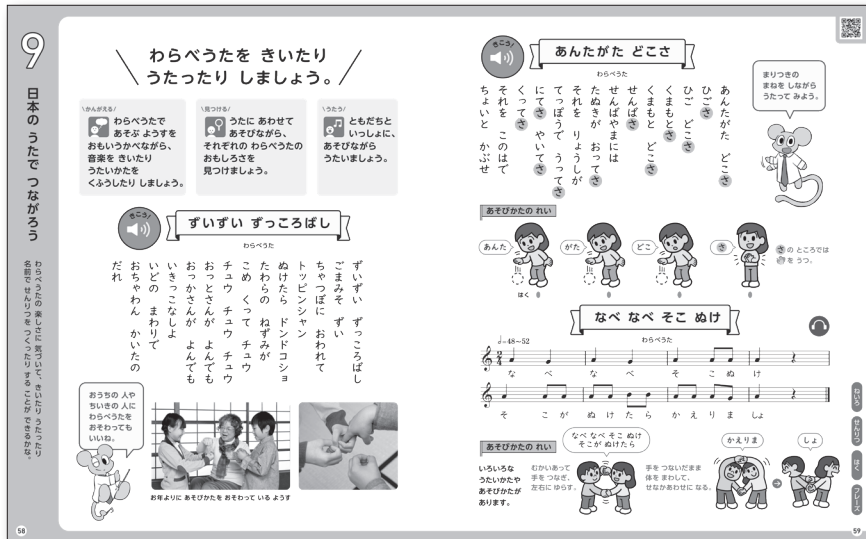
文字の背景に色を敷く場合には、色や形を工夫しています。



P.10・11

4 我が国の文化を大切にする心情を育てる教材

- 古くから伝わるわらべうたを遊び方とともに取り上げました。



P.58・59

5 ICT 機器の活用への対応

- 全ての歌唱・器楽教材で、MIDIによる音源を聴くことができます。また、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツも準備しました。

ムーブのへや

二次元 コーポス 入りです

がくしゅうにやくだつ 音楽や しりょうが ウェブサイトにあります。

音楽を きくことが できます。

しりょうを見る ことができます。

P.4

6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①主体的、協働的な学びを促す。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(P.2・3)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●わらべうたを取り扱う題材を配置し、それらに親しみながら学習を進められるようにしました。(P.58・59)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の挨拶の言葉に触れることができる教材を掲載しました。(P.6・7)
<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育との関連に配慮して、外国の遊び歌や踊りの音楽を掲載しました。(P.8・9、P.12・13) 		
(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「ふりかえりのページ」でも一覧できるようにしました。 	
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって、学習に役立つ歌唱・器楽教材の MIDI 音源や、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツを活用できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい児童の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
文字・印刷・製本・用紙	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式にしました。針金を使わないため、安全性にも優れています。 ●用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用しています。 	

2. 対照表

図書構成		学習指導要領の内容																
ページ	教材名 ◎…鑑賞教材 / (共)…共通教材	歌唱			器楽					音楽づくり				鑑賞		〔共通事項〕		
		ア	イ	ウ	ア	イ		ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	
						(ア)	(イ)											(ア)
6	メッセージ		○														○	
8	◎小犬のビンゴ			○													○	○
10	(共) かくれんぼ	○	○		○	○											○	
12	◎ティニクリン 他																○	○
14	はしの上で		○															○
16	たぬきのたいこ	○	○															○
18	◎ミッキーマウス マーチ/ ◎メヌエット																○	○
20	◎ドレミのうた	○	○	○	○												○	○
22	かっこう	○	○	○	○		○	○	○	○	○							○
24	かえるのがっしょう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○
26	ぷっかりくじら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○
28	なきごえをつかってあそぼう										○		○		○			○
30	(共) 虫のこえ	○	○		○													○
32	この空とぼう						○	○		○								○
34	いるかはざんぶらこ		○			○	○	○	○	○	○							○
36	山のポルカ		○	○			○	○	○	○	○							○
38	かねがなる	○	○		○	○												○
40	おまつりの音楽						○					○		○				○
42	◎トルコ こうしんきょく																○	○
44	◎だがっき パーティー																○	○
46	がっきでおはなし										○		○		○			○
48	かぼちゃ		○				○	○	○	○	○							○
50	あのね、のねずみは	○	○		○	○												○
52	◎たまごのからをつけた ひなどりのバレエ																○	○
54	(共) タヤけこやけ	○	○		○	○												○
56	小ぎつね	○	○	○	○		○	○	○	○	○							○
58	◎ずいずいずっころばし/ ◎あんたがたどこさ																○	○
59	なべなべそこぬけ	○	○		○													○
60	名前でせんりつあそび										○		○		○			○
62	楽しいね	○	○		○	○												○
64	こぐまの二月		○	○		○	○	○	○	○	○							○
66	◎エンターティナー																○	○
68	(共) はるがきた	○	○		○	○												○
70	うたいつごう 日本のうた	○	○	○	○	○												○
72	あの青い空のように／はるのまきば	○	○	○	○	○												○
73	あおいそらにえをかこう	○	○	○	○	○												○
74	手のひらをたいうように	○	○	○	○	○												○
75	どこかで	○	○	○	○	○												○
75	ドレミであそぼ	○	○	○	○	○	○	○		○								○
76	アイアイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○
82	国歌「きみがよ」	○	○	○	○	○												○